

# FoEドイツ代表来日 国際セミナー in東京

## セミナー2: 市民運動が後押ししたエネルギー政策転換

●日時: 9月21日(水) 17:00~19:00

●会場: 衆議院第二議員会館 多目的会議室

### ●開催趣旨

ドイツ市民の脱原発の声は、1998年に社会民主党政権を誕生させ、2002年の脱原発の制定にもつながりました。メルケル政権で原発延命の議論も出てきたものの、福島原発事故直後に再検討を決定。5月30日、改めて2022年までの脱原発が決定しました。同時に、2000年に導入された再生可能エネルギー買取法によって、再生可能エネルギー利用は右肩上がりに上昇、現在、送発電量の2割にも達しています。ここでも、独自に再生可能エネルギー導入を進める市民イニシアチブが制度づくりを後押ししました。

エネルギー・原子力政策転換にいたる政策決定プロセスと市民運動について、ドイツの経験をもとに、FoEドイツの活動についても聞きながら議論します。

### ●内容:

「ドイツの市民運動が動かしたエネルギー政策転換」

フーベルト・ヴァイガー(FoEドイツ)

・ゲストプロフィール: フーベルト・ヴァイガー(FoEドイツ代表)  
ミュンヘン大学教授。専門は森林生態学。1975年よりFoEドイツに参加、農業問題研究会メンバー等をつとめる。2007年より代表。



<FoEドイツ(BUND)>

国際的な環境団体のネットワークFriends of the Earth(FoE)のドイツメンバー。

ドイツ最大の環境団体で約48万人の会員とドイツ各地のローカルネットワークを持つ。

原子力問題は発足以来大きなテーマのひとつであり、現在、福島の状態もウェブサイト等で知らせ支援を呼びかけている。

### ■主催

国際環境NGO FoE Japan(フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン) [www.foejapan.org](http://www.foejapan.org)

〒171-0014 東京都豊島区池袋3-30-8 みらい館大明1F tel: 03-6907-7217

fax: 03-6907-7219 email: [finance@foejapan.org](mailto:finance@foejapan.org)